



もっと
知りたい!

読み聞かせについてのQ&A

Q1 同じ絵本ばかり読みたがりますが、このままでよいのでしょうか？

A 心配はいりません。

お気に入りの絵本ができるのはすばらしいことです。子どもが満足のいくまで何度でも楽しむと興味・関心は広がっていきます。気になるようでしたら、好きなページや場面から、少しずつジャンルを広げてみてはいかがでしょうか。

Q2 「のりもの」の本にしか興味を示さないのですが。

A 心配はいりません。

特に男の子は「のりもの」が大好きです。一緒に「のりもの」についてのストーリーを作ったりするのもよいかもしれません。また、「のりもの」の登場する「おはなし」を読んであげるといこともできます。

Q3 ぜひ「パパ」にも、絵本の読み聞かせをしてほしいのですが。

A その通りですね。

パパに絵本を読んでもらうのは、ママとはまた一味違う良さがあります。パパと過ごすひとときに、絵本を楽しく読む時間を加えてみてください。パパが登場する本もたくさんあります。

Q4 絵本を読むと、字が早く覚えられますか？
しつけにもいいですか？

A 絵本は早期教育やしつけのための「教材」ではありません。

絵本を読むことでいろいろな知識が身につくことはあるかもしれませんが、子どもにとっては、絵本はコミュニケーションの時間であり、温もりを感じるスキンシップの時間でもあります。一緒に絵本を楽しむことで育まれる心の安らぎは、何ものにも代えがたいものではないでしょうか。

参考・出典

「絵本で子育てを楽しく」文部科学省
「子ども読書の情報館」サイト

子ども読書の情報館

検索

「赤ちゃん向け絵本ガイド」広島県立図書館編集
広島県読書推進協議会発行



Q5 仕事や家事に追われ、読み聞かせをする時間がとれないのですが、どうすればよいのでしょうか？

A 家族のライフスタイルに合わせてはいかがでしょうか。

読み聞かせをする曜日や時間を決めておくことで負担無く気軽にできます。出勤前、お昼寝の前、食事の後、お風呂あがり、寝る前などできる時間を探してみましょう。また、子どもが「よんで」といったときに、つつい忙しくて「あとでね」と言ってしまうがちです。今すぐは無理かも知れませんが、そのあとに、できるだけ読んであげましょう。

Q6 子どもが3才になりますが読み聞かせをしてきませんでしたが、今からでもよいのでしょうか。

A 何才からでも安心してはじめてください。

読み聞かせを続けているうちに、子どもが成長し、興味・関心が広がったり、情緒が豊かになっていく様子を実感できるようになっていきます。

Q7 どんな絵本を選べばよいのでしょうか？

A 世の中には本当にたくさんの絵本があります。その中からどれを選んでいいのか迷ってしまわれる方もいらっしゃるかもしれません。

読み継がれている本

良い絵本を探す近道の一つに「読み継がれている本」という視点があります。次代を超えて子どもに支持されている絵本はそれだけ魅力を備えた作品ばかり。まずは、お近くの図書館へ行かれてみてはどうですか。

ブックリスト・書評を参考に

図書館の職員や子どもの本の専門家たちが、実際に手渡した経験を参考に作った、おすすめ絵本のブックリストや書評がたくさんあるので、それらを参考にするのも一つの方法です。

基本は好きな本！

なにはともあれ、絵本の選び方の基本は、子どもの好きな本、そしておとなのあなたも好きになり読んであげたいと思う本です。